

●【令和6年能登半島地震】緊急消防派遣隊報告会  
地域のつながりが  
大切な命を守る



宮津市・伊根町・与謝野町の首長と意見交換をする森上警備課長補佐（左から4番目）

道路整備と  
住宅耐震化が必要

2月5日、宮津与謝消防組合の防災センターにおいて、1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」の救援で、石川県珠洲市に派遣されていた隊員による報告会が行われました。

同組合は、1月31日までに延べ40人を被災地に派遣。1月4日、7日に派遣された山下宮津分署警備1係長は、倒壊家屋からの救助にあたり「救助には『人命救助』と『人生救助』がある。発災から72時間以上が経過している中、一人でも多くの方を家族のもとへ帰してあげることが使命だと思いつ動した」と話しました。

また、隊員らは被災地への派遣から、「丹後半島と能登半島は似ている。海辺に町が広がり裏手に山がある状況と、半島の先に行け

ばアクセス道路も限られている」と指摘。さらに、古い木造建物の多くが倒壊している状況から、「耐震化も重要」と訴えました。

「共助」で救える命がある

被災地のある地域では、津波や余震に備えた行動をとり、本震直後には屋外に避難し、倒壊建物による被害を免れたケースがあったと言います。「日ごろから自治会や隣組などで、避難困難者を誰が助けるのかを話し合っておくことが重要だと思う」と、自助・共助の重要性も話しました。



活動写真をもとに報告する4人の消防隊員

【令和6年能登半島地震災害義援金】皆さんの温かいご支援、ありがとうございます

418,550円 (1月31日現在の額)

役場でお預かりした義援金額をお知らせします。お預かりした義援金は、日本赤十字社を通じて被災地の方へお届けします。引き続き皆さんの温かいご支援、よろしく申し上げます。

<義援金箱設置場所>

- 役場本庁舎 会計課
- 役場加悦庁舎 会計窓口、福祉課
- 役場野田川庁舎 住民税務課住民係



町ホームページ

インターネットからも  
回答できます！



より伝わる広報とは？  
広報アンケート

回答期限

4月5日 金

SNSインターネットによる情報取得の多様化や少子高齢化など、社会環境が変化している中で、住民の皆さんが町から発信する情報に何を求められているのか、また、どのように受け止めておられるかなどの現状を把握し、広報・広聴活動の課題を検証するため「広報アンケート」を実施しますので、ご協力をお願いします。

回答方法

- 対象者 与謝野町内の在住または在勤の方
- 回答方法 本アンケート用紙またはインターネット（上記の二次元コード読み取ってください）
- 提出方法 各庁舎窓口へ提出、郵送、ファックス、メール ※ 用紙の場合
- その他 回答はお1人1回まで

アンケート  
項目

Q1 性別

- 男性  女性  未回答

Q2 年代

- 10歳未満  10代  20代  30代  40代  50代  
 60代  70代  80代以上

Q3 居住地

- 加悦地域  岩滝地域  野田川地域  町外（ ）

Q4 スマートフォン・タブレット・パソコンを使っていますか。

- 日常的に使用  持っているがあまり使用しない  持っていない

Q5 「Q4で日常的に使用している」と回答した方は、主にどんな用途に使っていますか。

- インターネット検索・情報収集  SNS・メール  動画・音楽視聴  通話が中心  
 その他（ ）

与謝野町の情報発信

Q6 町政に関する情報をどのような方法で入手していますか。（上位3つまで回答）

- 広報よさの  ホームページ  有線テレビ  FM告知  SNS  
 議会だより  新聞  窓口・電話での問い合わせ  その他（ ）

Q7 町政について、特に知りたい情報は何か。（上位3つまで回答）

- 財政状況  公共施設  窓口届出・手続き  各種事業・計画  福祉・介護・健康  
 出産・子育て  学校教育  文化・スポーツ・生涯学習  歴史・文化財  公共交通  
 産業・雇用  入札・工事  環境・ごみ  防災・防犯  観光・イベント  
 その他（ ）